

仕 様 書

1 件名

外国人観光客動態分析業務委託

2 目的

川崎市では外国人観光客の誘致を推進しており、平成 29 年度から毎年、訪日外国人の動態分析調査を実施してきた。現在新型コロナウイルス感染症の影響により訪日外国人が減少しているものの、段階的な入出国制限緩和や、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会延期開催の実現に向けた動きがみられ、本市観光資源の効果的なプロモーションの継続や、将来的なインバウンド回復期に備える必要があることから、今年度についても外国人動態分析調査を実施する。

今年度調査については、従来の訪日外国人に加えて在日外国人も調査対象とすることで、現在の外国人の本市内での消費傾向や行動パターンを把握し、今後のマイクロツーリズムを見据えたプロモーション活動のための基礎情報収集を目的とする。

また本分析調査により、本市内でのインバウンド減の実態を把握するとともに、将来的な訪日外国人の本市誘致施策の参考とする。

3 委託内容

本事業で委託する業務は、データ分析業務及び分析レポート作成業務とする。

在日外国人を含めた外国人の消費動向を中心とした調査を実施するが、特に観光スポット周辺エリア(例:川崎駅前周辺、川崎大師周辺、生田緑地周辺)での早朝・夜間を含んだ時間帯別の消費動向や動態に着目することで、新たなプロモーションに役立てることが可能な調査とすること。

(1) データ分析業務

受託者が利用可能な各種データを活用し、川崎市に滞在する外国人の特性、動向等を分析する。分析するデータの想定は次のとおりとし、効率的な調査実施方法を提案すること。調査方法や利用するデータの名称等を企画提案書に記載すること。

なお、各種データについては、できる限り直近のものを使用すること。

ア 使用データ想定

- (ア) クレジットカード等消費決済データ
- (イ) 携帯電話のローミングデータ
- (ウ) 政府機関等の統計情報、オープンデータ等
- (エ) その他受託者が利用可能な情報

イ 分析対象期間

2020年1月～2020年12月

ウ 分析内容

- (ア) 基本調査（川崎市の宿泊者数や外国人の居住国等）
- (イ) 消費傾向調査（国籍別の傾向、外国人の決済状況等）
- (ウ) 滞在傾向調査（川崎市内での外国人の滞在地等）
- (エ) 周遊傾向調査（外国人の川崎市来訪前後の訪問地や川崎市内での周遊状況等）
- (オ) 新型コロナウイルス禍から回復期における消費傾向調査
- (カ) その他本市と受託者が協議の上決定した調査

(2) 分析レポート作成業務

(1) で分析したデータを考察し、川崎市内での外国人観光客の動態についてのレポートを作成し、川崎市に提出する。

なお、レポートには次の項目を含むものとし、経年変化が把握できるように作成すること。

- ア 外国人の居住国等の属性(在日・訪日別に分析)
- イ 外国人のエリア別・属性別の推移(在日・訪日別に分析)
- ウ 在日・訪日外国人による消費動向（属性別に分析）
- エ 川崎市内での訪日外国人の周遊状況及び川崎市来訪前後の訪問地（属性別に分析）
- オ 新型コロナウイルス禍から回復期における消費傾向
- カ その他川崎市のインバウンド関連施策に資する項目

4 成果物

本委託事業の成果物として川崎市における外国人観光客動態分析レポート（紙媒体5部、電子データ）を提出する。

5 報告会の開催

本委託事業により分析した川崎市における外国人観光客の動態について、中間報告会及び報告会を開催する。時期や方法については、川崎市及び受託者の協議のうえ決定する。

6 履行期間

契約日から令和3年3月19日

7 成果物の取り扱い

本業務委託の成果物に係る著作権は川崎市が保有するものとする。

8 その他

本仕様書に定めのない事項については川崎市及び受託者の協議のうえ決定する。